



素敵な卒業式をありがとうございました!!

3月7日(金)、たくさんの方に見送られ3年生132名が浅江中学校を巣立っていきました。式は、1時間半弱でしたが、そこに至るまでの練習、会場準備等々、1・2年生がしっかり取り組んできた集大成が、式に凝縮されていたような気がします。

おかげで、参列された多くの方々から、「とても素敵な式でした。」という言葉を多くいただきました。そんな素敵な式をつくりあげてくれた、1・2年生のみなさん、本当にありがとうございました!!

今日から、みなさんが浅江中の顔です(2年生の掲示版にも掲示されています)。4月に、新入生が安心して学校生活を送っていくことができるよう、先輩として、「気づき・考え・行動」していきましょう。

卒業証書授与式では、芳岡市長、西村 PTA 会場から祝辞をいただきました。西村 PTA 会長からは、保護者目線の温かいお言葉をいただきましたので、以下にご紹介します。

西村 PTA 会長 祝辞

PTAを代表し、一言お祝いの言葉を申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、保護者の皆様には、お子様が立派に成長され、今日の日を迎えられましたことに、心からお祝い申し上げますとともに、これまでPTA活動にご理解とご協力をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、今日は皆さんに2つの話をしたいと思います。

1つ目は、これからの生き方についてです。これから皆さんは色々な生き方を選ぶことができます。義務教育に縛られることなく、勉強するのもしないのも皆さん次第。高校で青春大いに結構。明るくハジけてみたり、クールに決めてみたり、キャラ変だってできます。働いてもいいし、会社を起こすことだってできる。いろんな生き方を自分の責任で選ぶことができるのです。

でも、どんな生き方を選択しても、共通することがあります。それは、人に信用され、人に感謝できないとうまくいかないということです。なぜなら、人間は一人では生きられないから。皆さんが今日、朝起きてここに来るだけでも、ご飯もそう、着ている服もそう、顔を洗う水だけでもどれだけの人の手がかかってできているか、想像すればわかりますね。何事にも感謝の気持ちをもちましょう。「ありがとう」の数だけ幸せになれます。

また、人に信用されるシンプルな判断基準を、私なりに皆さんに一つだけお伝えするなら、「それ、カッコいいですか?」です。これは、決してカッコつけようってことではなくて、むしろカッコつけなくていいから、人として当たり前のことを当たり前にやろうぜってことです。人を傷つけたり、約束を守らなかつたり、謝るべき時に謝れなかつたり、そんな時、「それ、カッコいいですか?」と自問自答してみてください。きっと、皆さんは「気づき、考え、行動できる」はずですよ。

ただ、自分の心と体を守るために逃げることは、決してカッコ悪いことではありません。これだけは覚えておいてください。

2つ目は、保護者の気持ちについてです。よく子や孫を目に入れても痛くないと言いますが、本当です。皆さんのことが心配で仕方ないし、皆さんが苦しむ姿を見るくらいなら、自分が苦しむほうがよっぽど良い。皆さんのためならどんなに疲れていても頑張れるし、どんな痛みにも耐えられます。命だって張れるんです。口うるさく言うのも、将来にわたって皆さんを守りたい、支えたい一心から。嫌いな気持ちは一ミリもありません。だから、多少ウザくても、これからも、元気に心配をかけてください。困った時は頼ってください。そして、生きて、生きて、生きてください。世の中に、これほど皆さんの味方になり、応援してくれる人はいません。今日くらいは、家に帰って感謝の気持ちを伝えてみましょう。心から喜んでくれるはずですよ。

結びに、今日まで、子どもたちを温かく見守り、支え、ご指導くださった先生方、地域の皆様、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。卒業生の皆さんが、今後、大きく、力強く羽ばたいていくことに精いっぱいエールを送り、祝辞といたします。

